

**企業名** ツオイスダイカスト株式会社  
**代表者** 川村 喬  
**所在地** 安達郡白沢村糠沢字小田部80番地2  
 TEL 0243(44)3065  
 FAX 0243(44)3928  
<http://www.workshop-access.com/forum/tsuois.html>  
**資本金** 1,000万円  
**従業員数** 16名(男性4人・女性12人)  
**事業内容** 精密亜鉛ダイカスト製造  
 金型、タップ加工、プラスチック加工、  
 パレル研磨、鍍金、塗装  
**主要取引先** ツオイス(株)、ツオイスモールド(株)  
 (株)シグマ、(株)タムロン、(株)飯山コシナ  
 日本電産ネミコン(株)、狭山精密工業(株)他

## 企業の特徴

当社は昭和63年に設立し、12年目の企業です。社長自身は独立することの構想を頭で描いていた時期に、大学時代の友人から声をかけられたのが追い風となり、独立を決意しました。独立には少し遅かったとは感じましたが、それまで培ってきた技術がどれだけ評価されるか、不安と期待の入り混じる中で、社長夫婦二人だけでの船出でした。

亜鉛と聞くとほとんどの方が「中毒は大丈夫」と思われるかもしれませんが、文字は似ていても全く違う物質ということをご存知でしょうか。最近ではテレビでも亜鉛が人間の体に必要な物質だということが採り上げられることもあり、理解されてきてはありますが、亜鉛ダイカスト製品を使われる業者の方たちのなかにもその違いを理解されていない方がとても多いのが現状です。

現在まで手掛けてきた製品は多品種ありましたが、得意分野である光学機器等(カメラ、交換レンズといった光学機器類の精度部品が中心です。)の小型高精度部品の営業を開始しました。磐梯町の交換レンズメーカーの(株)シグマさんより、マシンが入る前から契約をいただき好調なスタートができ、その後はカメラメーカーや交換レンズメーカーへの営業を強化し、順調な売上で推移しました。

受注先が偏っていたことより、バブル崩壊後の煽りを当然受け、売上は二桁の減少になりました。また、軽量化の時代の動きに亜鉛の重さが合わないものが多くなったことも事実です。業態安定のため新規顧客開拓を精力的に進めました。そして、商品の

特長である下記の3項目を新規お取引先に理解して頂くことを重点としてきました。

寸法精度が抜群に良い。

他の素材では出せないミクロンの世界も亜鉛ダイカストは出せます。それによって、他の素材では2次加工によって精度をだすところを、亜鉛ダイカストではそのまま精度を出せるため二次加工にかかるコストを無くすることができます。

つまりコストダウンできるということです。

薄いものや細いもの等複雑形状に最適。

少し前まではカメラの部品に使われていたような技術を全く違う分野でも応用させることが鍵になると思います。そのアイデアこそが決め手になるということです。

地球環境に優しい素材。

最近エコロジーやISO基準という言葉をよく耳にしますが、亜鉛ダイカスト製品の製造過程において産業廃棄物は一切発生しません。リサイクルは当然で、捨てるものはありません。

このように良い点が多々ありながらも、亜鉛ダイカストの良さが忘れ去られている取引先に、啓蒙活動的なPRや営業を続けております。

そして、今後更に有効活用したいと思っているのはインターネットです。現在の東日本という市場が全国、いや世界中へと広がるからです。

当社も2年前からホームページを立ち上げて、日経関連のサイトに名前を連ねておりますが、その宣伝効果は目を見張るものがあります。

先日のメールとFAXでの成約先は四国の高知でした。ネットの世界は「系列」をひっくり返す手段になることは間違いなく、今後どう使うかによって明暗が分かれるものと確信しています。

これからは、当社の経験と高度な技術力を基に、高品質の製品を安定的に供給するため、あらゆる角度からVA・VE的なご提案により、少しでも取引先のコストダウンができるように努力してゆきたいと話してくれました。

